

2020 年

天皇杯全日本レスリング選手権

報道資料（各階級展望）

《全日本選手権・大会サイト》<https://www.japan-wrestling.jp/2020/12/14/166293/>

【12月17日（木）】（8階級＝試合開始10時）

男子フリースタイル：61、70、125kg 級

男子グレコローマン：67、82、97kg 級 / 女子：55、72kg 級

【12月18日（金）】（8階級＝試合開始10時）

男子フリースタイル：65、97kg 級

男子グレコローマン：77、87、130kg 級 / 女子：50、62、76kg 級

【12月19日（土）】（8階級＝試合開始10時）

男子フリースタイル：74、79、86kg 級

男子グレコローマン：55、63kg 級 / 女子：57、59、68kg 級

【12月20日（日）】（6階級＝試合開始9時30分）

男子フリースタイル：57、92kg 級

男子グレコローマン：60、72kg 級 / 女子：53、65kg 級

＝2020年天皇杯全日本選手権実行委員会 広報部会＝

◎女子

【50kg 級】 =8 選手

五十嵐 未帆
(明光ネットワークジャパン)
伊藤 海 (京都・網野高)
小坂 歩未 (法大)
坂本 由宇
(JWA/東京・帝京高)
清水 美海 (日大)
中村 未優 (Sports Design Lab)
吉元 玲美那 (至学館大)
米原 実穂 (愛知・至学館高)

昨年3位で今年2月のアジア選手権(インド)を制した五十嵐未帆(明光ネットワークジャパン)と昨年のアジア・ジュニア選手権(タイ)優勝で学生チャンピオンの吉元玲美那(至学館大)が優勝を争うか。吉元は10月の西日本学生選手権で優勝。コロナ後の試運転に成功している。

昨年インターハイ47kg級チャンピオンの伊藤海(京都・網野高)、同50kg級3位の坂本由宇(JWA/東京・帝京高)の高校生選手の殊勲なるか。伊藤は今年2月のクリッパン女子国際大会(スウェーデン)で優勝。シニアの国際舞台でも台頭を始めた。坂本も同大会カデットで3年連続優勝と国際舞台へ進出している。

【53kg 級】 =8 選手

奥野 春菜 (至学館大)
入江 ななみ (ミキハウス)
下野 佑実 (育英大)
片岡 梨乃 (早大)
角谷 萌々果
(アイシン・エイ・ダブリュ)
與那嶺 優里
(釘宮整形外科リハビリクリニック)
藤波 朱理
(三重・いなべ総合学園高)
矢後 佑華 (警視庁)

昨年優勝の奥野春菜(至学館大)が2年連続優勝(通算3度目)を目指す。東京オリンピックの道はなくなったが、再起を飾れるか。

昨年夏、奥野との55kg級でのプレーオフに勝って世界選手権に出場、銀メダル獲得の入江ななみ(ミキハウス)が再度、激しい闘いを展開するか。昨年大会決勝は奥野に敗れており、リベンジを目指す。

2018年U23世界選手権優勝の角谷萌々果(アイシン・エイ・ダブリュ)、昨年全日本社会人選手権優勝の矢後佑華(警視庁)が優勝戦線に浮上できるか。

昨年インターハイ50kg級優勝の片岡梨乃(早大=当時千葉・日体大柏高)、同53kg級を1年生で制した藤波朱理(三重・いなべ総合学園高)がどこまで上位に食い込めるか。

【55kg 級】 =8 選手

櫻井 つぐみ (育英大)
大橋 海寛 (至学館大)
五十嵐 彩季 (至学館大)
今井 佑海 (日大)
伊藤 乃愛 (愛知・至学館高)
田村 生吹 (日体大)
長谷川 華子 (日大)
吉柴 未彩輝 (大東文化大)

昨年、高校生で2位に入賞した**櫻井つぐみ (育英大=当時高知・高知南高)**、U23 世界選手権で2018年優勝・19年2位の**五十嵐彩季 (至学館大)**、昨年の全日本学生選手権53kg級の**今井佑海 (日大)**の争いとなるか。

櫻井は今年2月のクリッパン女子国際大会 (スウェーデン)、今井は今年1月のヤリギン国際大会 (ロシア) 53kg級でそれぞれ優勝。五十嵐は2018年にシニアのアジア選手権 (キルギス) を制しており、いずれもシニアの国際舞台での優勝経験を持っている。ハイレベルな闘いとなりそう。

【57kg 級】 =6 選手

南條 早映 (至学館大)
永本 聖奈 (至学館大)
澤 葉菜子 (至学館大)
入江 くみ (ミキハウス)
白池 優月 (早大)
太田 若那 (東洋大)

昨年優勝の**南條早映 (至学館大)**と昨年3位の**永本聖奈 (至学館大)**の争いか。南條は昨年、世界ジュニア選手権 (エストニア) 59kg級優勝、U23 世界選手権 (ハンガリー) 優勝、ワールドカップ (千葉) 1戦1勝と世界の主要大会で結果を出している。両者は10月末の西日本学生選手権で対戦、南條が勝ったものの大接戦で、実力は接近している。

昨年のもう一人の3位の**澤葉菜子 (至学館大)**が両者の闘いに割って入れるか。昨年はアジア・ジュニア選手権で優勝し、今年1月のヤリギン国際大会 (ロシア) で2位に入るなど世界で通用する実力をつけつつある、

昨年の62kg級学生チャンピオンで、全日本選手権は同級3位だった**入江くみ (ミキハウス)**が階級を下げたエントリーした。新たな階級で上位進出なるか。

【59kg 級】 =7 選手

稲垣 柚香 (至学館大)
今 佑海
(リバーサルジム新宿 Me,We)
杉山 絢海 (東農大)
田南部 夢叶 (日体大)
徳原 姫花 (自衛隊)
花井 瑛絵 (至学館大)
吉武 まひろ (日体大)

昨年 2 位の稲垣柚香 (至学館大) は、U23 とジュニアの世界選手権ではともに 62kg 級で優勝。シニアの世界選手権 59kg 級でも 8 位に入賞し、ワールドカップ (千葉) 59kg 級でも 2 戦 2 勝で、1 階級下の前世界チャンピオン (栄寧寧=中国) を破った。世界トップレベルの実力を持つ。今年 10 月の西日本学生選手権 62kg 級に出場して優勝しており、ブランク後の試運転も成功している。

昨年 3 位で今年 2 月にアジア選手権 (インド) 出場などで経験を積んだ今佑海 (リバーサルジム新宿 Me,We) がどう挑むか。

国際舞台での実績なら、昨年 57kg 級 2 位の花井瑛絵 (至学館大) が同級の世界ジュニア選手権を制し、田南部夢叶 (日体大) は U23 世界選手権優勝。ワールドカップ (千葉) 出場の機会も得た。国際舞台で力をつけつつある選手による激戦が予想される。

【62kg 級】 =6 選手

石井 亜海 (東京・安部学院高)
小玉 彩天奈 (早大)
岩澤 希羽 (至学館大)
尾崎 野乃香
(JWA/東京・帝京高)
坂野 結衣 (警視庁)
宮道 りん (日体大)

昨年優勝の石井亜海 (東京・安部学院高) と、決勝で惜敗した小玉彩天奈 (早大) の争い。昨年、17 歳 0 ヶ月 10 日で優勝した石井は、今年 2 月のクリッパン女子国際大会 (スウェーデン) でも優勝、シニアの国際舞台でも実績をつくっている。小玉は 11 月の東日本学生選手権・女子の部で優勝し、コロナによるブランクの後の初戦を飾った。

昨年 68kg 級 3 位の宮道りん (日体大) が 2 階級ダウンに挑む。高校以降は初めての階級となる。新たな階級を飾りたいところ。昨年の東京オリンピック・テスト大会優勝の坂野結衣 (警視庁) が巻き返しを目指す。

2018 年ユース・オリンピック 57kg 級優勝の尾崎野乃香 (JWA/東京・帝京高) が全日本選手権に初出場する。カデットで優勝続きの実力を日本最高峰の舞台で発揮できるか。すでに昨年の国体で優勝しており、一気に栄冠を取る可能性もある。

【65kg 級】 =6 選手

類家 直美（至学館大）
今井 海優（自衛隊）
河内 沙樹（日体大）
寺本 鈴（岐阜・中京学院中京高）
三輪 奏歩（東洋大）
森川 美和（日体大）

昨年優勝で今年 2 月のアジア選手権（インド）も制した **類家直美（至学館大）** が 3 連覇を目指す。昨年はアジア選手権（中国=2 位）、世界選手権（カザフスタン=12 位）、ワールドカップ（千葉=2 勝）と国際大会の経験も多く積み、成長途上の活躍。

ここに昨年 68kg 級優勝の **森川美和（日体大）** が階級を下げた参戦。東京オリンピック出場はならなかったが、11 月の東日本学生選手権で優勝し、再起へ向けて好調。2 人の全日本チャンピオンが優勝を争うか。

昨年 2 位の **今井海優（自衛隊）** がリベンジを狙う。今年 1 月のヤリギン国際大会（ロシア）で 2 位に食い込むなど、シニアの舞台でも実力を発揮し始めている。昨年のインターハイ 68kg 級チャンピオンの **寺本鈴（岐阜・中京学院中京高）** がどこまで上位に食い込めるか。

【68kg 級】 =4 選手

松雪 成葉（至学館大）
進藤 芽伊（日体大）
関 千晶（警視庁）
福島 宇美（明大）

昨年この階級 2 位だった **松雪成葉（至学館大）** と、72kg 級で昨年優勝した **進藤芽伊（日体大）** の争いとなるか。

進藤は昨年の U23 世界選手権（ハンガリー）で 3 位、今年 2 月のアジア選手権（インド）で 2 位と国際舞台でも成績を出しているが、いずれも 72kg 級での闘い。初の 68kg 級での試合で実力を発揮できるか。

松雪は昨年、世界ジュニア選手権（エストニア）を制し、東京オリンピック・テスト大会（2 位）、ワールドカップ（千葉=1 勝 2 敗）、アジア選手権（インド）2 位と 68kg 級で多くの経験を積んでいる。階級を下げた進藤を返り討ちにできるか。

【72kg 級】 =3 選手

小林 奏音（専大）
古市 雅子（自衛隊）
水島 京香（日体大）

昨年の世界選手権 3 位の**古市雅子（自衛隊）**が首ひとつ抜けている状況。昨年はオリンピック代表を目指して 68kg 級に出場し 3 位に終わった。本来の階級に戻し、日本一を目指す。

昨年 2 位の**小林奏音（専大）**がその牙城を崩せるか。東日本学生選手権では優勝しているが、全日本レベルの優勝はなく、全日本制覇が次の目標。同じ学生の**水島京香（日体大）**がどこまで食いつけるか。

【76kg 級】 =5 選手

松雪 泰葉（至学館大）
阿部 梨乃（自衛隊）
長島 水城（大東文化大）
鏡 優翔（東洋大）
齋藤 未来（小田開発工業）

昨年優勝の**松雪泰葉（至学館大）**が連覇を目指す。2017・18 年に 2 年連続で 2 位だったあとの優勝だけに、手放したくないところ。昨年 2 位の**阿部梨乃（自衛隊）**、同 3 位の長島水城（大東大）がどう闘うか。

昨年の世界ジュニア選手権 72kg 級と U23 世界選手権 76kg 級を制覇した**鏡優翔（東洋大=当時 JWA/東京・帝京高）**がこの階級に挑む。昨年はオリンピック代表の可能性が残っていた 68kg 級に下げて出場した。その道は閉ざされたが、この階級に腰を落ちつけて国内での主要タイトル獲りに挑む。

◎男子グレコローマン

【55kg 級】 =8 選手

片桐 大夢 (拓大)
塩谷 優 (拓大)
星野 工 (日体大)
小野 弘運 (徳山大)
荒木 瑞生 (九州共立大)
大谷 康太 (神奈川・秦野総合高教)
岡本 景虎 (専大)
加藤 万豊 (明大)

昨年優勝の片桐大夢 (拓大) に、昨年高校生で決勝進出を果たしながら 1 分 7 秒で敗れた塩谷優 (拓大=東京・自由ヶ丘学園高卒) がリベンジを目指す。片桐は昨年のアジア選手権 (中国) でも 2 位に入っている実力者。塩谷は 10 月の全日本大学グレコローマン選手権で 1 年生王者に輝き、勢いをつけている。

昨年 3 位の星野工 (日体大) と小野弘運 (徳山大)、10 月の全日本大学グレコローマン選手権 2 位の加藤万豊 (明大) らがどう挑むか。小野は 11 月の西日本学生選手権優勝と勢いをつけた。

昨年の全国高校生グレコローマン選手権 55kg 級優勝の荒木瑞生 (九州共立大=佐賀・鳥栖工高卒) が塩谷に続けるか。

【60kg 級】 =8 選手

文田 健一郎 (ミキハウス)
鈴木 絢大 (日体大)
竹下 航生 (拓大)
稲葉 海人 (日体大)
大城 達人 (国士舘大)
河名 真偉斗 (専大)
藤波 諒太郎 (自衛隊)
矢部 和希 (日体大)

東京オリンピックの代表に内定している文田健一郎 (ミキハウス) が、代表内定選手で唯一エントリーした。若手選手の挑戦を受ける。

昨年優勝の鈴木絢大 (日体大) がどう挑むか。文田と同じ場所で練習しているが、対戦はない。U23 世界選手権 (ハンガリー) 出場などの経験を生かせるか。

昨年 2 位で今年の全日本大学グレコローマン選手権 63kg 級で 1 年生王者に輝いた竹下航生 (拓大=香川・高松北高卒)、昨年の国体優勝の藤波諒太郎 (自衛隊)、昨年の全日本大学グレコローマン選手権優勝の矢部和希 (日体大)、昨年 3 位の稲葉海人 (日体大) らが殊勲を目指す。

【63kg 級】 =8 選手

山田 義起 (エムアンドケイ)

石川 将樹 (常陽銀行)

徳比嘉 一仁 (日体大)

小柴 亮太 (日体大)

清水 賢亮 (拓大)

山本 真聖 (青山学院大)

吉川 航平 (秋田・秋田商高教)

吉田 大夢 (中京学院大)

昨年優勝の山田義起 (エムアンドケイ)、同 2 位の石川将樹 (常陽銀行)、同 3 位の徳比嘉一仁 (日体大)、今年 of 全日本大学グレコローマン選手権 60kg 級優勝の清水賢亮 (拓大) の中から優勝選手が生まれるか。

山田は昨年、U23 世界選手権 (ハンガリー)、今年 2 月にアジア選手権 (インド) に出場し、世界への飛躍を始めた選手。他の 3 選手より一歩先を行っているか。

全日本大学グレコローマン選手権 2 位の吉田大夢 (中京学院大) は、その後の西日本学生新人戦 60kg 級でも優勝した。西日本大学の意地を見せられるか。

【67kg 級】 =8 選手

下山田 培 (警視庁)

遠藤 功章 (東和エンジニアリング)

上垣 勇二 (自衛隊)

井ノ口 崇之 (自衛隊)

曾我部 京太郎 (日体大)

田口 学容 (中京学院大)

堤 滋樹 (日体大)

吉永 信太郎 (専大)

昨年 2 位の下山田培 (警視庁) に対し、同 3 位の上垣勇二 (自衛隊) と遠藤功章 (東和エンジニアリング) が世代交代をかけて挑む。遠藤は昨年の U23 世界選手権 (ハンガリー) に出場して 5 位に入賞。上垣は昨年の国体を制するなど国内で地位を固めつつある。

昨年の大会で 63kg 級世界王者の太田忍を破る殊勲を挙げた井ノ口崇之 (自衛隊) が、どこまで上位に入れるか。昨年は優勝した高橋昭五にも 5-7 と健闘しており、実力は十分。

全日本大学グレコローマン選手権優勝の吉永信太郎 (専大)、国体少年 3 連覇で 11 月の東日本学生選手権・新人戦優勝の曾我部京太郎 (日体大) ら学生選手も続いており、熾烈な闘いが見込まれる。

【72kg 級】 =8 選手

高橋 昭五 (警視庁)
前田 明都 (専大)
山本 貴裕 (山口県協会)
井上 智裕 (FUJIOH)
勝浦 胤芙熙 (九州共立大)
島袋 慶生 (新潟・新潟県央工高教)
堀江 耐志 (自衛隊)
北條 良真 (神奈川大)

67kg 級でオリンピック・アジア予選への出場を決めている高橋昭五 (警視庁) がこの階級にエントリー。昨年 77kg 級に挑んで 3 位だった 2018 年王者の井上智裕 (FUJIOH) がこの階級に復帰する。2019 年の世界選手権代表であり、兵庫・育英高の恩師 (井上=監督) と教え子 (高橋) の 2 人が優勝を争うか。

高橋は 2018 年に全日本社会人選手権 72kg 級で優勝の経験がある。井上は 2016 年リオデジャネイロ・オリンピック 66kg 級 5 位のあと、72kg 級で 2018・19 年に世界選手権に出場した実力者。両者は 2015 年全日本選手権決勝で対戦し、井上が元恩師の実力を発揮してテクニカルフォールで快勝。以後は、階級が違って対戦はない。

2018・19 年の大学王者で昨年 3 位の前田明都 (専大)、同じ昨年 3 位で国体を制している山本貴裕 (山口県協会)、国体 2 位の島袋慶生 (新潟・県央工高教)、2019 年全日本学生選手権優勝の北條良真 (神奈川大) の中から、殊勲を達成する選手が出るか。

【77kg 級】 =8 選手

屋比久 翔平 (ALSOK)
櫻庭 功大 (自衛隊)
日下 尚 (日体大)
小室 裕大 (自衛隊)
下山田 周 (日体大)
小路 直頌 (自衛隊)
菅原 魁一 (日本文理大)
山田 脩 (日体大)

昨年優勝でオリンピック・アジア予選代表の屋比久翔平 (ALSOK) と、同 2 位の櫻庭功大 (自衛隊) がそろった。昨年の決勝の再現なるか。

2018 年大会では櫻庭が屋比久に土をつけている。櫻庭はその後、全日本チームの欧州遠征、U23 世界選手権 (ハンガリー=2 位)、今年 2 月のアジア選手権 (インド=7 位) など国際舞台を多く経験し、実力を磨いている。

2018 年大会優勝の小路直頌 (自衛隊) が巻き返せるか。昨年 72kg 級で日本男子グレコローマン最年少となる 19 歳 0 ヶ月 22 日で優勝した日下尚 (日体大) がこの階級に挑む。今年の全日本大学グレコローマン選手権も 72kg 級で優勝したが、新たな階級での闘いはどうか。

【82kg 級】 =8 選手

向井 識起 (自衛隊)
川村 洋史 (自衛隊)
松崎 勇人 (宮崎・福島高教)
岡嶋 勇也 (警視庁)
塩川 貫太 (長野県協会)
田中 真男 (日体大)
藤井 達哉 (後藤回漕店)
山崎 翔馬 (九州共立大)

昨年優勝の**向井識起 (自衛隊)** が連続優勝を目指す。昨年は世界ジュニア選手権 (エストニア=8 位)、U23 世界選手権 (ハンガリー=11 位)、ビル・ファーレル国際大会 (米国=4 位) に出場。今年 2 月にはアジア選手権 (インド) に出場して 6 位と、数多くの国際舞台を経験し、実力アップをはかってきた。

昨年の世界選手権代表の**岡嶋勇也 (警視庁)** が、77kg 級でのオリンピック挑戦を経て、この階級に戻ってきた。向井の行く手に立ちはだかるか。昨年 2 位の**川村洋史 (自衛隊)**、同 3 位の**松崎勇人 (宮崎・福島高教)** が、どう挑むか。

昨年 87kg 級 3 位の**塩川貫太 (長野県協会)**、2017~19 年全日本学生選手権 3 連覇の**藤井達哉 (後藤回漕店)**、今年 of 全日本大学グレコローマン選手権優勝の**山崎翔馬 (九州共立大)** らが、その牙城を崩せるか。

【87kg 級】 =5 選手

角 雅人 (自衛隊)
鶴田 峻大 (自衛隊)
阪部 創 (自衛隊)
奈須川 良太 (神奈川大)
宮本 海渡 (日体大)

昨年まで 3 年連続優勝しており (通算 4 度)、オリンピック・アジア予選代表の**角雅人 (自衛隊)** に、昨年 2 位の**鶴田峻大 (自衛隊)**、77kg 級でオリンピックを目指していた**阪部創 (自衛隊)** が挑む。自衛隊勢による争いは、だれが栄冠を勝ち取るか。

角は全日本選抜選手権でも 2018・19 年を制しており、全日本の 2 大会を通じて 5 大会連続で制している。不動の地位を守りたい。鶴田は今年 2 月にアジア選手権 (インド) へ出場。貴重な経験を飛躍につなげられるか。阪部は昨年の国体 87kg 級で優勝しており、この階級の試運転は成功している。

2018・19 年全日本学生王者の**奈須川良太 (神奈川大)**、昨年の全日本学生選手権 3 位の**宮本海渡 (日体大)** の学生勢が自衛隊の独占を阻止するか。

【97kg 級】 =5 選手

奈良 勇太（警視庁）

仲里 優力（日体大）

志喜屋 正明（自衛隊）

天野 雅之（中大職）

高橋 三十郎（九州共立大）

オリンピック・アジア予選代表の**奈良勇太（警視庁）**が5連覇を目指す。昨年の世界選手権（カザフスタン）、今年2月のアジア選手権（インド）とも白星をマークし、着実な前進がある。さらなる強さを見せられるか。

その行く手に立ちはだかるのは、昨年2位の**仲里優力（日体大）**や同3位の**志喜屋正明（自衛隊）**か。仲里は10月の全日本大学選手権で不覚を喫しているだけに、勝って再起を飾りたい。志喜屋は昨年、仲里に不覚を喫しているだけに、仲里へのリベンジと優勝が目標となろう。

ベテランの**天野雅之（中大職）**が浮上できるか。今年の西日本学生選手権優勝の**高橋三十郎（九州共立大）**が上位へ食い込めるか。

【130kg 級】 =7 選手

園田 新（ALSOK）

河野 隆太（あづまフーズ）

鈴木 翔真（拓大）

奥村 聡太（拓大）

貝塚 賢史（茨城・霞ヶ浦高職）

庄司 樹（専大）

番地 啓太（国士舘大）

オリンピック・アジア予選代表で第一人者の**園田新（ALSOK）**が7連覇を目指す。どんな強さを見せるか。今年2月のアジア選手権（インド）ではイラクの選手を破って5位に入賞しているが、もうひとつ上に行くには国内で圧勝する強さが必要。勝ち方が問われる状況だ。

昨年2位の**河野隆太（あづまフーズ）**がベテランの味を發揮できるか。同3位の**鈴木翔真（拓大）**と**奥村聡太（拓大）**、昨年の全日本選抜選手権2位の**番地啓太（国士舘大）**、今年全日本大学グレコローマン選手権2位の**庄司樹（専大）**らの学生選手がどこまで食いつけるか。

◎男子フリースタイル

【57kg 級】 = 8 選手

樋口 黎 (日体大助手)

高橋 侑希 (ALSOK)

藤田 雄大 (自衛隊)

新井 陸人 (自衛隊)

荒木 大貴 (専大)

有延 大輝 (築上クラブ)

竹下 雄登 (日体大)

山口 叶汰 (神奈川大)

昨年の決勝を争った**樋口黎 (日体大助手)**と**高橋侑希 (ALSOK)**の再現なるか。昨年は7-6の1点差で樋口が勝った。オリンピック・アジア予選に向かう樋口に、高橋は一矢報いたいところ。

同3位の**藤田雄大 (自衛隊)**が両者の闘いに割って入れるか。昨年は61kg級でワールドカップ (ロシア) とアジア選手権 (中国) を経験。国際舞台で鍛えている。

昨年の学生二冠王の**新井陸人 (自衛隊)**の上位進出なるか。昨年のアジア・ジュニア選手権優勝の**竹下雄登 (日体大)**が、今年 of 全日本大学選手権優勝と実力を伸ばしている。注目の存在になるか。

【61kg 級】

清水 蛍汰 (拓大)

小川 航大 (日体大)

菊地 憲 (秋田県協会)

清岡 幸太郎 (日体大)

嶋江 翔也 (佐賀県協会)

但野 航 (ニトリ)

長谷川 敏裕 (日体大大学院)

吉村 拓海 (自衛隊)

昨年2位の**清水蛍汰 (拓大)**と同3位の**小川航大 (日体大)**の争いなるか。両者は11月の全日本大学選手権の決勝で対戦。小川が勝っているが、7-5の接戦。実力差は感じられない。

昨年の国体優勝の**長谷川敏裕 (日体大大学院)**が意地を見せるか。長谷川は57kg級でやってきた選手。減量の少ないこの階級に腰を落ち着けて飛躍を目指す。

昨年の全日本学生選手権2位の**吉村拓海 (自衛隊)**、昨年65kg級3位の**嶋江翔也 (佐賀県協会)**の社会人選手、昨年高校生で57kg級3位に入った**清岡幸太郎 (日体大=高知・高知南高卒)**らが優勝戦線に浮上できるか。

【65kg 級】 =8 選手

安楽 龍馬 (早大)
磯 次郎 (自衛隊)
上野 裕次郎
(栃木県スポーツ協会)
徳力 貫太 (専大)
中田 陽 (三重・朝明高教)
萩原 大和 (拓大)
山口 海輝 (日体大)
米澤 圭 (住友金属鉱山)

昨年の1~3位は不出場。その中を、65kg 級にアップして今年全日本大学選手権優勝の山口海輝(日体大)が飛び抜けるか。同選手権では65kg 級としての初戦であったにもかかわらず5試合に快勝。61kg 級で世界ジュニア選手権(エストニア)優勝、世界選手権(カザフスタン)出場の経験を生かす強さを見せた。

全日本大学選手権で山口に敗れ、連覇ならなかった安楽龍馬(早大)のリベンジなるか。コロナによるブランクのあとは全日本大学グレコローマン選手権に出場して3位に入賞するなど経験を積んでいる。

2018年世界大学選手権優勝の米澤圭(住友金属鉱山)、昨年の全日本選抜選手権61kg 級優勝の中田陽(三重・朝明高教)らの社会人選手が学生選手の栄冠を阻止できるか。

【70kg 級】 =8 選手

高田 熙 (日体大)
米澤 凌 (早大)
坂野 秀堯 (日大)
阿部 宏隆 (サコス)
諏訪間 新之亮 (国士舘大)
瀬野 春貴 (愛知・星城高教)
谷山 拓磨 (拓大)
基山 仁太郎 (日体大)

昨年、高校生ながら2位に躍進した高田熙(日体大=当時千葉・日体大柏高)が、今年は頂上に立てるか。今年11月の全日本大学選手権は7位に終わっており、厳しい現実直面した。はい上がれるか。

昨年の全日本選抜選手権70kg 級優勝の瀬野春貴(愛知・星城高教)は、U23世界選手権で3位に入賞。昨年の世界ジュニア選手権74kg 級2位の基山仁太郎(日体大)とともに、国際舞台での経験をどう生かすか。

昨年3位の米澤凌(早大)と坂野秀堯(日大)、昨年の全日本学生選手権で1年生王者に輝いた諏訪間新之亮(国士舘大)、今年全日本大学選手権優勝の谷山拓磨(拓大)ら、高田以外の学生選手も優勝を狙う実力はある。

【74kg 級】 =7 選手

高谷 大地（自衛隊）
三輪 優翔（日体大）
赤荻 蘭丸（自衛隊）
川畑 孔明（自衛隊）
木下 貴輪（クリナップ）
志賀 晃次郎（拓大）
原口 伸（国士舘大）

昨年、階級を上げて2位に入った**高谷大地（自衛隊）**が、2月のアジア選手権（インド）でも3位入賞と力をつけている。新たな階級で立場を確固たるものとするか。

昨年70kg級で世界選手権に出場した**志賀晃次郎（拓大）**は、今年11月の全日本大学選手権はこの階級で優勝。高谷と同じく階級アップを順調にこなしている。

昨年の全日本大学選手権を制した**川畑孔明（自衛隊）**、昨年の国体王者の**木下貴輪（クリナップ）**の社会人選手、昨年70kg級優勝の**原口伸（国士舘大）**、昨年3位の**三輪優翔（日体大）**の学生選手の中から、だれが飛び抜けるか。

【79kg 級】 =8 選手

奥井 真吉（国士舘大）
高橋 夢大（日体大）
梅林 太朗（早大）
成田 竜也（秋田県協会）
藤波 勇飛（ジャパンビバレッジ）
村島 克哉（中大）
村山 貴裕（自衛隊）
吉田 隆起（自衛隊）

昨年優勝の**奥井真吉（国士舘大）**、同2位の**高橋夢大（日体大）**がエントリー。昨年の決勝はチャレンジの末、判定が変わって奥井の手が上がる大接戦だった。大激戦が再現されるか。奥井は今年2月のアジア選手権（インド）に出場して3位に入賞。高橋は10月の全日本大学選手権74kg級で2位に入る成績を残している。

2018年74kg級優勝の**藤波勇飛（ジャパンビバレッジ）**が階級を上げてエントリーした。負傷もあって東京オリンピックの道は絶たれたが、70kg級で世界3位の実績を持つ実力がこの階級でも出せれば、一気に栄冠を勝ち取れよう。昨年の学生王者の**吉田隆起**と社会人王者の**村山貴裕**の**自衛隊勢**の上位進出はあるか。

【86kg 級】 =6 選手

石黒 隼士 (日大)
山田 修太郎 (山梨学院大)
白井 勝太
(HAKOBEE SPORTS)

白井 達也 (日体大)
松坂 誠應 (自衛隊)
山崎 弥十朗 (サイサン)

昨年 2 位で今年 of 全日本大学選手権優勝の石黒隼士(日大)、同 3 位で 2 月のアジア選手権 (インド) を制した山田修太郎(山梨学院大)の 2 人の学生選手の争いとなるか。

昨年の U23 世界選手権 3 位の石黒は 11 月の全日本学生選手権を制して強さをキープ。山田は 10 月の全日本大学グレコローマン選手権で勝ち、専門外のスタイルでも強さを見せた。

2017 年世界選手権代表で昨年 of 全日本選抜選手権 2 位の松坂誠應(自衛隊)、2018 年世界選手権代表で昨年 3 位の白井勝太(ハコピースポーツ)が巻き返せるか。昨年 of 全日本学生選手権優勝の山崎弥十朗(サイサン)、11 月の全日本大学選手権で山田を破った白井達也(日体大)の上位進出はあるか。

【92kg 級】 =6 選手

高谷 惣亮 (ALSOK)
山中 良一 (愛知・名古屋工高教)
井筒 勇人 (拓大)
竹内 亮亘 (ALSOK)
三浦 哲史 (京都・網野高)
横田 裕大 (立大)

74・79・86kg 級で優勝の経験がある高谷惣亮(ALSOK)が、4 階級にわたっての 10 年連続優勝を目指す。本来の階級ではないが、オリンピック・アジア予選(86kg 級に出場)の前に負けたくはあるまい。

10 連覇を達成すれば、男子では森山泰年 (14 連覇)、松本慎吾 (10 連覇) に続き史上 3 人目の快挙。10 度の優勝は男女通じて史上 9 人目の快挙となる。

昨年 2 位の山中良一(愛知・名古屋工高教)は 2013 年国体で高谷に土をつけたことがある。再現するか。高校生として出場する今年 of 全国高校選抜大会 125kg 級優勝の三浦哲史(京都・網野高)が上位へ食い込めるか。

【97kg 級】 =7 選手

赤熊 猶弥 (自衛隊)
山口 剛 (新日本プロレス職)
園田 平 (自衛隊)
石黒 峻士 (新日本プロレス職)
大津 拓馬 (山梨学院大)
二ノ宮 寛斗 (不二精機)
吉田 ケイワン (日大)

オリンピック・アジア予選代表で3年連続4度目の優勝を目指す**赤熊猶弥 (自衛隊)**に、昨年2位の**山口剛 (新日本プロレス職)**が挑む。長年のライバル関係にある両者だが、2018・19年の対戦成績は赤熊の4勝1敗とリード。精神的な優位はあるか。

昨年3位の**園田平 (自衛隊)**と**石黒峻士 (新日本プロレス職)**の社会人選手が優勝戦線に浮上するか。園田と赤熊、石黒と山口の同門の争いが実現する可能性もある。

昨年92kg級優勝の**大津拓馬 (山梨学院大)**は今年2月のアジア選手権(インド)で2位に躍進して階級をアップ。今年の全日本大学選手権優勝と試運転に成功した。全日本のマットではどうか。昨年の学生二冠王(全日本学生選手権、全日本大学選手権)の**吉田ケイワン (日大)**は、今年の全日本大学選手権で大津に惜敗。リベンジを目指して日本一に挑戦したい。

【125kg 級】 =8 選手

田中 哲矢 (自衛隊)
荒木田 進謙
(athletic camp LION)
金澤 勝利 (自衛隊)
木村 陽仁 (国土舘大)
出頭 海 (中大)
森 右秀 (中京学院大)
安田 拓斗 (国土舘大)
山本 泰輝 (自衛隊)

昨年初優勝を果たしオリンピック・アジア予選代表権を獲得した**田中哲矢 (自衛隊)**が連覇を目指す。今年2月のアジア選手権(インド)では壁の厚さを感じさせられただけに、しっかり勝ってアジア予選に挑みたいところ。

昨年の決勝で、負傷による途中棄権という不本意な形で敗れた**荒木田進謙 (athletic camp LION)**がリベンジ優勝を目指す。

昨年の国体優勝で2017・18年世界選手権代表の**山本泰輝 (自衛隊)**の巻き返しはあるか。昨年3位で、2位や3位の多い**金澤勝利 (自衛隊)**が壁を破れるか。